

義務教育でオリンピック選手育成

○オリンピックで、日本が頑張る姿は未来を担う「子ども」の教育・成長に必要です。

○アスリート育成はどうなっているのか。誰がするのか。

○義務教育の中でも、育成できないか。

○2020東京オリンピック

「福岡市」出身の選手の活躍を願い、夢が叶うために。



今林ひであき

市政報告

【発行者】

福岡市東区
塩浜一丁目16-25
今林ひであき事務所
TEL. 092-605-6515



・平成28年11月
アメリカンズカップ
(ヨット世界レース)

・平成29年度
今津運動公園の完成
(高校野球の決勝戦が可能)

・平成30年12月
総合体育館の開館
(アイランドシテイ)

・平成31年6月
日本陸上選手権

・平成31年9月
ラグビーワールドカップ

・平成32年9月
オリンピック・パラリンピック
(スエーデン・ノルウェー合宿地)

・平成33年8月
世界水泳選手権

「モデル校」は不公平
「アスリート育成」は
特性を生かすため必要

○義務教育では、公平・平等な教育が求められます。

一方、「モデル校」と称して、一部の学校だけに特別な教育をさせる、一部の子どもだけが恩恵を受け、それが何年も続いたら、どう思いますか？

○義務教育では、学力をはじめ、礼儀・道徳など人間としての基本を学ぶことが、大切です。また、**選考基準なく、特別の教育をさせる「モデル校」は、実験ではないので、全ての「学校」「子ども」に広げるべき。**

○一方、人間には、それぞれに特性がある。それを生かす機会の確保も大事。
その**選考が公平・公正**にあれば良いと思います。

「ラグビーワールドカップ」
オールブラックスの誘致

- ・ニュージーランド・オークランド福岡市姉妹都市30周年
- ・Dream Rugby 福岡実行委員会の設立
- ・平成28年11月14日 調印式
- ・平成29年8月5日(土) 親善試合(対オークランド州代表)(予定)

※ 福岡市に関係ある選手

五郎丸 歩(老司中)	現在30歳	・・2019年は33歳
福岡 堅樹(福岡高校)	現在24歳	・・2019年は27歳
藤田 慶和(東福岡高校)	現在23歳	・・2019年は26歳
桑水流裕策(福岡大学)	・現在31歳	・・2019年は34歳

福岡商工会議所・青年会議所の活動により、80,899人の署名が集まりました。実行委員会設立の中心メンバーです。

○義務教育は、公平・平等であるべきに異論はありません。

○では特性のある「子ども」を伸ばすことは、どうしたら良い？

○勉強なら、塾通い？

○運動なら、クラブチームで特別指導？

○義務教育の中でも、強化できないか。

・特にスポーツ選手は

2020 オリンピックに向けて

将来活躍できる選手発掘。

